

## 第1回本宮市総合計画審議会会議録

1 日 時 令和5年4月25日（火） 午後1時30分～午後3時00分

2 場 所 本宮市役所 3階 大会議室

|       |       |         |
|-------|-------|---------|
| 3 出席者 | 市 長   | 高 松 義 行 |
|       | 会 長   | 川 崎 興 太 |
|       | 副 会 長 | 宍 戸 喜代子 |
|       | 委 員   | 石 井 隆   |
|       | 委 員   | 宇 治 和 子 |
|       | 委 員   | 遠 藤 恵美子 |
|       | 委 員   | 遠 藤 順 子 |
|       | 委 員   | 小野間 宏 子 |
|       | 委 員   | 川 名 良 子 |
|       | 委 員   | 佐 藤 一 成 |
|       | 委 員   | 佐 藤 幸 男 |
|       | 委 員   | 橋 本 清 徳 |
|       | 委 員   | 長谷川 沙 貴 |
|       | 委 員   | 長谷川 真美子 |
|       | 委 員   | 宮 崎 真二郎 |
|       | 委 員   | 和 田 直 也 |
|       | 委 員   | 渡 辺 明 弘 |

|         |                    |       |
|---------|--------------------|-------|
| 4 事務局職員 | 総務政策部長             | 荒川 貞伸 |
|         | 総務政策部政策推進課長        | 石橋 淳  |
|         | 政策推進課課長主任主査兼政策推進係長 | 武藤 正昭 |
|         | 政策推進課副主査           | 佐藤 光  |
|         | 政策推進課主事            | 川上 丈瑠 |

5 傍 聴 人 な し

6 議事

- (1) 本宮市第2次総合計画前期基本計画の検証について
- (2) 本宮市第2次総合計画後期基本計画の構成について
- (3) 今後の進め方について
- (4) 第2回審議会開催日程について
- (5) その他

## 7 審議経過

【午後1時30分開会】

- ◆委嘱状交付
- ◆市長〔あいさつ〕
- ◆会長、副会長の選出
- ◆会長、副会長〔あいさつ〕
- ◆諮問

【審議事項】

- ◆会長 （1）本宮市第2次総合計画前期基本計画の検証について、事務局の説明を求める。
- ◆事務局 資料2・資料3により説明。
- ◆会長 事務局より、市民意識調査と市民アンケートの結果についての説明があった。市民の意向に則した計画を策定する上で非常に重要な資料になっている。以上の説明について意見を求める。
- ◆委員 中学生や高校生にもアンケートを取っていることはとても良いと感じた。そこで一点質問、中学生の有効回答率が高いのに対し、高校生の回答率が3割である差はどういうところにあるのか？
- ◆事務局 市内中学生については、各学校にお願いして調査を行った。高校生については、市内の高校3年生にダイレクトメールを送って、返信用封筒もしくはWeb回答という形で調査を行った。今後はさらに工夫をしながら調査に協力していただけるように努めていきたい。
- ◆委員 データは多いほうがいい。回答いただいている高校生に関しては、市政に意識があると思うので、そのほかの高校生の意見もあるほうがいいと思う。（幅広い意見があるといい）
- ◆委員 子育てで様々な意見や悩みが寄せられている。子育てをするときに待機児童が多いと聞いている。第2子や第3子の育児をしたいが、第1子を保育所に預けることができず、困っているという声が多いので、待機児童について市役所と話し合いながら改善していきたい。
- ◆事務局 前年度までは育児休暇になると、第1子の家庭内保育が可能となるため、第1子の退所をお願いしていたが、本年4月から育児休暇中でも預かるサービスを始めた。市民に対して市の施策のPRが不足している。実際はやっているが伝わっていない部分がある。保護者にはPRしているが、市民の方々、さらには子育てに携わる方々にもPRしていく必要がある。
- ◆会長 子育て・結婚については、後期基本計画を策定するうえで重要な議題になる。

- ◆委員 意識調査では高校生は紙と Web で回答したが、市民アンケートも紙と Web でやれば、さらに回答を得ることができたと思う。
- ◆事務局 中学生、高校生、市民の方にも紙と Web のどちらか選択できる形で回答をお願いしていた。無作為抽出による 2,000 人をお願いしていた。
- ◆委員 この 2、3 年で住宅がどんどん増えている。本宮地区は遊休農地が減っているが、白沢地区は遊休農地が増えており、営農環境が悪化している。さらには、農林業について意識が低いという調査結果がある。また、農林業の担い手が不足している。中学生や高校生が今後どのような職業に就きたいか、今後の産業についてどのように考えているかが分かる項目を意識調査の中に盛り込んでほしい。
- ◆会長 第 1 次産業は福島県の基幹産業であり、大事な課題である。その点で、若手農業団の立場として委員どうか。
- ◆委員 農業団を結成して 4 年目に入った。現在、各地域から活動している方が 15 名いる。しかし、各地域でも担い手が少なくなっている状況である。個人的な考えとして、幼少期の教育が農業よりも商工業に向いてしまう。また、若い人たちも農業に関して、関心がないと感じる。農業で暮らすためには、専業でなければならない。農業を学ぶ場所は、県内では明成高校、岩瀬農業高校の 2 校しかない。他にも農業を学ぶことができる施設があれば、農業に興味を持つ若い人が増えるのではないかな。
- ◆委員 市民アンケートの調査結果について、日常生活の満足度が高いのに対し、今後の居住意向は中学生、高校生が低くなっている。また、高校生の有効回答数が少ないことについては、本市に興味を持っていない高校生が多いのではないかな。これらの原因を突き止める必要がある。今後、本宮高校でも市や若手農業団と連携して、生徒の興味が農業に向くような取り組みを考えている。(焼き芋販売等)
- ◆委員 中学生や高校生は娯楽施設が少ないため、満足度が低いという結果が見受けられるが、娯楽施設とはそもそも何であるか。何が必要なのか。
- ◆委員 探究活動をとおして高校生に対し、何が欲しいか聞いたところ、マクドナルドが欲しいという声が多くある。友達とともに話す時間、場所が欲しい。友達と楽しい時間を過ごすことが娯楽となるのではないかな。それができる施設があれば良い。
- ◆委員 ありがとうございます。一般公募の立場からどうぞ。
- ◆委員 データのとり方として、質問。市民の年齢の分布図と回答者の属性の比率が同じかどうか。

- ◆事務局 アンケート調査を実施する際に、本市の人口比、男女比、地域での人口比を抽出する際に、ある程度同じ人数になるように設定。高齢者が多い地域は高齢者へ多く調査票が送られている。
- ◆委員 もう一つ質問。本市で暮らし続けたい理由について、5択の中から優先度が高いものに丸を付けるのか、その他の回答があったのか知りたい。
- ◆事務局 基本的には5択の中から選択して回答する方法になっている。
- ◆委員 ありがとうございます。このアンケートの中に、見えない隠れている意見がある。まだまだ拾わなければならない回答があるのではないかと。
- ◆会長 ありがとうございます。今後会議でも、意向調査やヒアリング調査は予定しているか。
- ◆事務局 今のところ予定はしていない。
- ◆委員 アンケートの中に働く場所について回答させる項目はないのか。
- ◆事務局 働く場所の関係については、アンケートはとっていない。雇用対策の部分について、意見や記述はいただいている。
- ◆委員 雇用対策の部分は、満足度が低いため、働く場所を的確に誘致していくことが必要であると考える。工業系の高校に委員の募集をかけることも必要。
- ◆委員 白沢地区が過疎化している。高齢者が買い物をしたくてもできない。白沢地区にも誘致する必要がある。若い人が働く場所を設ける必要がある。
- ◆委員 若い人たちの意見を聞く場はどこにあるのか。授業の外に、中学生や高校生に意見を聞ける場を設ける必要がある。
- ◆委員 本宮市内に住んでいる方の勤め先（福島市、郡山市など）の割合を知りたい。
- ◆事務局 国勢調査で把握しているため、次回、詳細の資料を示す。本市の特徴として、昼夜間人口の比率が高く、昼間に本市に来る方が多い傾向がある。通学者については、市外に行く方が多い一方、通勤者については市内向けが多い傾向である。
- ◆委員 まゆみクラブ連合会に入会する人口が少なくなっている。市からの支援が欲しい。
- ◆委員 市民が意見を出しやすい、ネットワークの環境を整える必要がある。

- ◆委員 若い人たちが人生のビジョンを描けなくなっていると感じる。住民が住み続けたいと感じるさせるためには、大きな特徴が必要であると感じる。現在の本市の特徴は、悪くはないが特徴がはっきりしているわけでもない。特徴がはっきりしていると人をもっと呼び込めるのではないか。お金をどの政策に中心的にそそぐかが鍵である。
- ◆委員 若い人たちが安心して育児ができる環境が必要である。
- ◆委員 本市から子どもを離さない環境が必要である。
- ◆委員 これまで出た意見をもとに、これからどうしていくか。いつまでに誰がどこでまとめていくかを決めて、今後取り組んでいく必要がある。
- ◆会長 この会議で出せなかった意見については、その都度事務局へ出していただきたい。
- ◆会長 (2) 本宮市第2次総合計画後期基本計画の構成について、事務局の説明を求める。
- ◆事務局 資料4により説明。
- ◆会長 (3) 今後の進め方について、事務局より説明を求める。
- ◆事務局 資料5により説明。
- ◆会長 (4) 第2回審議会開催日程について、事務局より説明を求める。
- ◆事務局 第2回審議会の開催日を令和5年6月28日(水)午後3時30分から、同じく市役所3階大会議室で開催する。

【午後3時10分閉会】

<以上>